

-お月さま七変化-

スター・ウィーク

～星空に親しむ週間～

8月1日～7日

イベントの情報があれば、このスペースをご利用下さい

スター・ウィーク2017のテーマソング「COSMOS」
星空を歌う音楽ユニット・アクアマリンの、夏の星空によく似合う素敵な歌。
詳しくはアクアマリンのサイトへどうぞ！ <http://aqumari.com/>

スター・ウィーク掲示板「いま、星を見ています」

スター・ウィークの7日間、どこかでみなさんと同じように星空を
星空を見上げている人が、きっといるはず。そんな「誰か」と
つながってみませんか？



施設・団体名を入れて
イベントなどでお配り下さい

スター・ウィークとは…

バード・ウィーク(愛鳥週間)があるのなら、
「スター・ウィーク」があつてもいいな…
子どもも大人も、だれもが気軽に星空を
見上げてほしい、そんな想いから始まった
星空に親しむ週間です。



主催:スター・ウィーク実行委員会
後援:自然科学研究機構 国立天文台・天文学振興財団

協力:PAONavi準備委員会、日本プラネタリウム協議会

日本公開天文台協会

<http://www.starweek.jp/>

～2017年版～

★自分の目でみつけてみよう★

☆織姫星・彦星(おりひめぼし・ひこぼし)

頭の上を見上げると、明るい星が3つ、ベガとデネブとアルタイルで「夏の大三角」と呼ばれている、大きな三角形ができます。その中の「こと座のベガ」が織姫星、「わし座のアルタイル」が彦星です。空の暗いところなら、七夕のお話のとおりに、2つの星の間に天の川が見えます。

☆天の川(あまのがわ)

月明かりの少ないころ、街をはなれて空の暗いところに行くと、天の川が見えることがあります。ほんやりとした、細長い雲のように見えますが、その正体は、たくさんの星の集まりです。

☆流れ星(ながれぼし)

毎年8月12-13日ごろは、流れ星がよく見られます。「ペルセウス座流星群(りゅうせいぐん)」と呼ばれ、明け方ほどよく見えます。2017年は月の条件があまり良くないですが、流れ星に出会うチャンスがあると思います。

～惑星を見よう！～

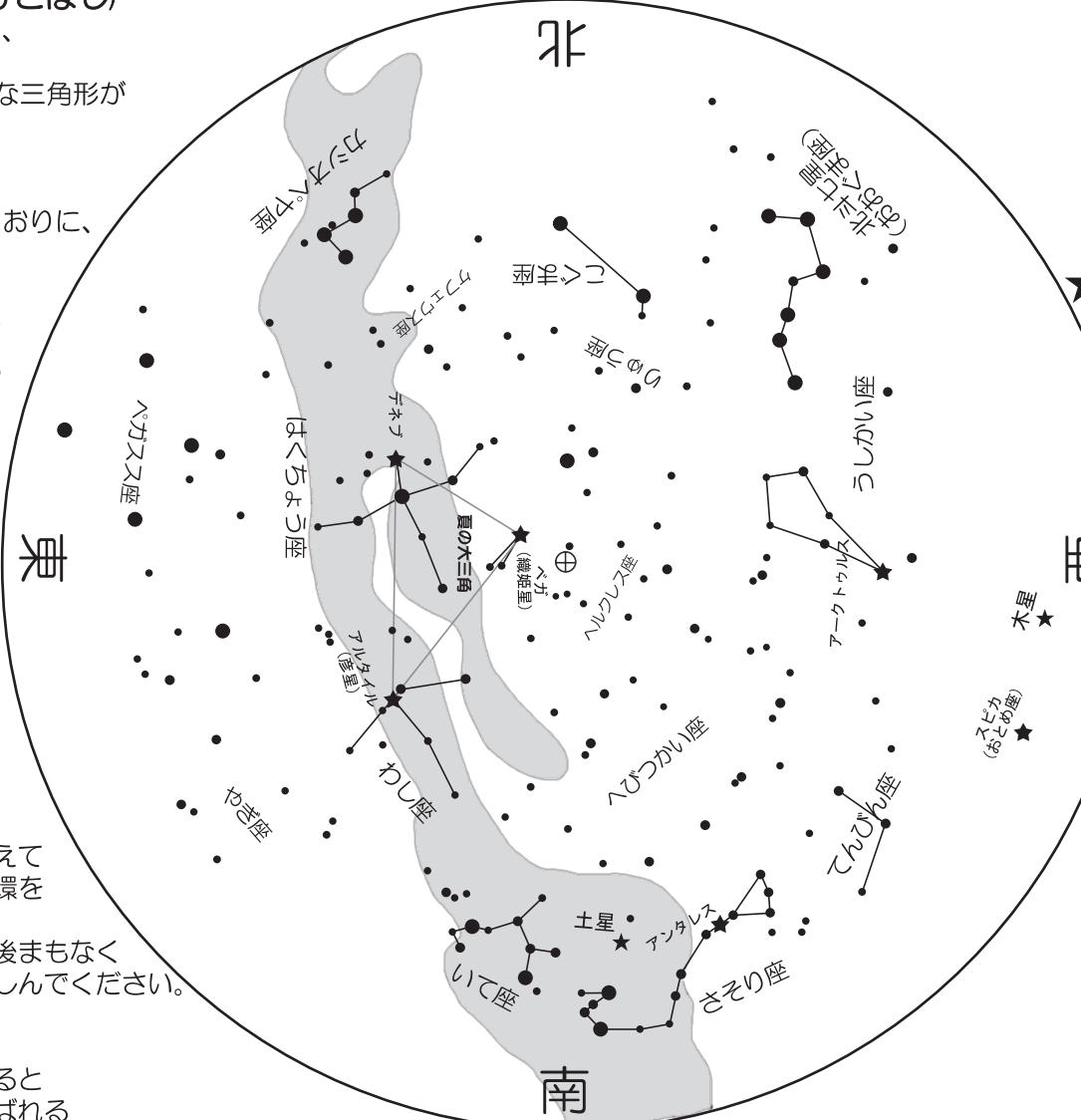
さそり座において座のあいだに、土星が見えてきます。望遠鏡を向けると、その美しい環を見る事ができます。西の空低く輝くのは木星です。日の入り後まもなく沈んでしまうので早めの時間に観察を楽しんでください。

～二重星(にじゅうせい)～

目で見ると1つの星なのに、望遠鏡で見ると2つ星が見える、そんな「二重星」と呼ばれる星が、たくさんあります。特におすすめは、はくちょう座のくちばしの所にある「アルビレオ」という星です。青と黄色の星が見えます。



8月の星空



★この図のみかた★
⊕印についているところが頭の真上です。
見たい方角を向いて、その見たい方角の字が
正しく見えるように手前に回して
空と見くらべてみてください。

★星を見に行く時の持ち物★

☆星の場所を知るために

→このリーフレットや星座早見盤

☆夜は暗い！足元は大丈夫？→懐中電灯 (赤いセロファンで光を弱くしてね)

☆寝転がって見よう→マット (安全なところに寝転がってね)

☆夏でも夜は寒い→あたたかい服

☆その他→虫よけ、時計、などなど

(夜でかける時は、必ずおとなの人といっしょに！)

★伝統的七夕を楽しもう★

7月7日の七夕は梅雨のくもり空で、なかなか星が見えませんね。

実は、江戸時代まで使われていたカレンダーは、現在のものと仕組みがちがい、日付も1ヶ月ほどずれがあります。

昔のカレンダーでの7月7日(伝統的七夕)は、今年は8月28日。部屋や身の回りの明かりを消して、普段より暗くなった夜空で、昔の人たちの気持ちになって、七夕を楽しんでみませんか？

★23回目のスター・ウィーク★

1995年からはじめたスター・ウィークは今年で23回目になりました。

みなさんが気軽に星空を見上げるきっかけになっていたら、とてもうれしいです。



2017年のキャッチコピー **「お月さま七変化」**

神奈川県の谷口ありさんとの作品です

今年のスター・ウィーク期間中は月がちょっとずつ大きくなっていくということで、そのワクワクする様子を「七変化」という言葉で表現しました。